

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

7月は、梅雨前線の影響か雨天が続き、稲作をはじめ農産物の生育に大きな影響が出ないかと心配の声が聞こえてくる。山岳観光な

どが魅力の大北地域に晴れ間が続いてほしいと切実な声が聞こえてくる。

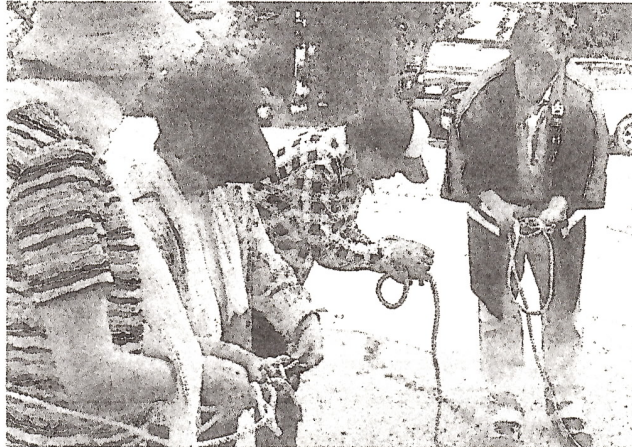
今年の修学旅行を受け入れた宿泊関係者からは、「児童生徒の減少による宿泊延べ人数の減少を痛切に感じたと今後の観光動向が課題となっている。新聞報道でも人口の動態について現状が伝えられているが、今後抱えるだろう切実な産業現場への影響を直視した論議が聞こえてこないのも、観光関係者の不安を増長しているの

だろう。4月には、総務省より昨年10月1日時点での人口推計で、外国人を含む総人口が1億2693万3千人、前年から16万2千人減少。人口減少は、長野県の1方1千人減少など40都道府県。1月1日現在の住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、日本人の人口減少は、初の30万人を超え、65歳以上の割合は過去最高の27・17%に達し、出生数は100万人を割り込んだ。

長野県が発表した毎月人口動態調査は、4月1日時点の年齢別人口推計で、65歳以上の人口割合で示す高齢化率は、天龍村の6割を筆頭に20町村で40%を超えた。総務省の4月1日時点の外国人を含む14歳以下の子ども数は、前年より17万人少ない1571万人、36年連続の減少。

減少に関する数値報告は、親睦会。マレットゴルフで汗を流し、基幹センター前での親睦会。流しラーメン、焼肉、ビンゴ、スイカ割り、花火。釣り自慢が、日本海で釣り上げた魚や自家農園で収穫した野菜などの景品を用意す

## 現場を直視して行動する大切さについて考えてみませんか



地域防災訓練で多くの地域住民が参加して、ロープ技術に挑戦。地域を守る住民の力を高める。

るなど手作り感が漂う家庭的な雰囲気。新規定住した若い夫婦と一緒に参加した、生まれ

「単なる娯楽に終わらせたくない」との思いが強く伝わってくる。この積み重ねが、明るい地域づくりに必要

る幸せを感じた楽しい1日に感謝だ。  
(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)